

新 城 市 議 会

予 算 ・ 決 算 委 員 会

令和5年9月4日（月曜日）

予算・決算委員会

日時 令和5年9月4日（月曜日） 午前11時36分 開会  
場所 議場

本日の委員会に付した事件

1 議題

第130号議案

「質疑・討論・採決」

出席委員（17名）

委員長 丸山隆弘 副委員長 鈴木達雄  
委員 カークランド陽子 今泉吉孝 小林秀徳 竹下修平 齊藤竜也  
佐宗龍俊 鈴木長良 浅尾洋平 柴田賢治郎 小野田直美  
山田辰也 村田康助 山口洋一 滝川健司 中西宏彰  
議長 長田共永

欠席委員 なし

説明のために出席した者

市長、副市長、教育長、課長職以上の関係職員

事務局出席者

議会事務局長 田中秀典 議事調査課長 阿部和弘 書記 山本弘美 書記 高橋加奈

**開 会 午前11時36分**

**○丸山隆弘委員長** ただいまから予算・決算委員会を開会します。

本委員会は、本日の本会議におきまして本委員会に付託されました第130号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第6号）の1議案を審査します。

審査は説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑は、配付の質疑通告順序表に従って発言を許可します。

質疑者、答弁者とも予算審査の趣旨に添って、簡潔明瞭にお願いいたします。なお、2問目以降の質疑は、答弁に疑義のある場合に質疑を行うものとし、新規の質疑は行わないようお願いいたします。

第130号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第6号）を議題とします。

歳出2款総務費の質疑に入ります。

最初の質疑者、佐宗龍俊委員。

**○佐宗龍俊委員** それでは、ただいま議題となっております第130号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第6号）について、歳出2款1項12目路線バス運行費、公共バス運行事業11ページであります

1、委託料（一般分）436万6千円の委託業務内容と積算根拠を伺います。

2、今回の実証運行について、システムや運行方法を伺います。また、既に行われております作手地区で運行しているデマンドバスとの違いがあればその内容を伺います。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** それでは、順にお答えさせていただきます。

まず、1番目、委託業務内容につきましては、海老、四谷、連合地区の区域内を事前の予約に基づき運行するデマンドバスの運行委託及び予約受付事務の委託等でございます。

積算の根拠につきましては、デマンドバスの運行委託料として399万3千円、予約受付

事務委託料として37万3千円でございます。

2番目の運行方法、それから、作手地区との違いについては、今回の実証運行につきましては、電話にて予約を行い、利用者の御自宅の最寄りの道路上で乗降できる作手地区のデマンドバスと同様の運行方法となります。

また、スムーズな予約対応ができるように、利用者の方には事前の登録をお願いしていきたいと考えております。

以上です。

**○丸山隆弘委員長** 佐宗龍俊委員。

**○佐宗龍俊委員** 理解をいたしました。何点か再質疑をさせていただきます。

そのシステムの関係なのですが、電話で受付ということで、この受付の事務の場所及び車両の管理というか、常に待機している場所を教えてください。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** まず、予約の受付につきましては、海老地区の地区会の方に委託したいと思っております。海老構造改善センターを予約の受付場所としまして、自動車等もそちらに待機するというようなことを考えております。

**○丸山隆弘委員長** 佐宗龍俊委員。

**○佐宗龍俊委員** 車両の台数については。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** 車両につきましては、実証運行ということで5人乗りの車両を1台と考えております。

**○丸山隆弘委員長** 佐宗龍俊委員。

**○佐宗龍俊委員** では、5人乗りの1台で、電話受付ということなのですが、その事前受付のリミットというか、当初、作手地区で始まったときにも、なるべく直近でというか、すぐに行きたいときの要望が多かったと思うのですが、そのあたりはいかがですか。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** 実証運行ということで、ほかの地区でもそうですが、すぐ

に当日ということではできない部分もございますので、前日の受付と想定しております。

**○丸山隆弘委員長** 佐宗龍俊委員の質疑が終わりました。

2番目の質疑者、浅尾洋平委員。

**○浅尾洋平委員** それでは、第130号議案令和5年度新城市一般会計補正予算（第6号）について伺います。

歳出2款1項12目路線バス運行費、公共バス運行事業11ページになります。

1点目、バス路線変更とのことでありますが、どういう内容か伺います。

2点目、住民との話合いや意見集約・住民理解のプロセスはどのように進んできたのか伺います。

1点目は、佐宗委員の質疑で分かりましたので、2点目、お願いします。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** それでは、2点目の住民との話合い、意見集約等についてお答えさせていただきます。

まず、豊鉄バスが運行しております田口新城線の令和4年度1日当たりの実績輸送量、これが国の地域間幹線系統補助金の補助要件、15人以上を下回りました。田口新城線の令和6年度地域間幹線系統の認定につきましては、令和4年度実績値を用いて申請するため、現在の運行計画では輸送量15人以上となる計画を提出できません。

その対策として、新城市民病院から滝上までの運行区間が田口新城線と同じであります四谷千枚田新城線を休止とし、四谷千枚田新城線利用者を田口新城線利用に振り向け、さらに、田口新城線の運行本数を増便することで輸送量15人以上となる計画を提出することになりました。

そのため、休止によりバス運行がなくなってしまう四谷・連合地区において、将来的に新城市地域公共交通計画に基づき実施する予定であった四谷千枚田新城線に替わる海老地

区におけるデマンド運行の早期実現を行っていくこととなりました。

具体的には、令和4年7月に海老、四谷、連合地区におきまして、公共交通意見交換会を行い、協議を進めていたところですが、同年12月に田口新城線の補助要件未達となることにより運行事業者より示されたため、令和5年10月からのデマンド運行実施について地域の方に説明させていただきました。

田口新城線の維持確保の必要性も含め、地域の方の利便性向上につながる運行方法であることを御理解いただき、地域の皆様の御協力の下、運行開始に向けて検討を進めているところでございます。

以上です。

**○丸山隆弘委員長** 浅尾洋平委員。

**○浅尾洋平委員** 分かりました。人口減少も含めて利用者が少なくなっているということが根本にあるのかなということで理解をいたしました。

1つ思ったのが、結構大きく、ダイヤも含めてバスの形態とかも含めた改革になるのかなというところを思ったのです。

そこで、今、利用している方々が不利益にならないように変更をお願いしたいなと思って、心配するということの質問をするのですが、元々、今使ってる住民の方とか、あとは通学の子どもたちだとかそういった方々に不利益にならないような形にしたいと思いますが、そこら辺の話合いとか対策のほうはどうでしょうか。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** 今現在、田口新城線、それから四谷千枚田新城線等、特に四谷千枚田新城線を利用されています中学生、それから高校生につきましては、この海老地区、四谷地区、連合地区のデマンドバス等で、田口新城線沿線まで御移動いただいて、そこから田口新城線でこれまでどおり通学、通勤できるようなダイヤ等を想定しております。

それ以外に、今、申し上げた海老、四谷、連合地区で、今までバスが入っていけなかったところ、空白地であったところにつきましても、このデマンドバス等を利用することによりまして地域内で移動することが可能になるということで、ほかの接続しておる路線も含めて、接続が上手にいくように検討しながら進めてまいりたいと思います。

以上です。

**○丸山隆弘委員長** 浅尾洋平委員。

**○浅尾洋平委員** 分かりました。不利益がないような形で対策を打っていただいているということで、そこはしっかりやっていただきたいと思っております。

もう1点お聞きしたいのが、先ほどの佐宗委員も言っておりましたが、予約受付業務のことについてお伺いいたします。

この予約受付で、地元の方が不安にならないようにという観点から疑問をさせてもらいたいと思うのですが、非常にローカルな地域のデマンドになると、ここに来てくださいという注文というかオーダーが入るかと思えます。ですから、普通のというか、その地域の地名だとか場所とかそういったことが非常に分かる人でないと電話受付ができないと思うのです。

ですから、やっぱり地元の方が不安にならないように、そういった受付業務というのは、かなり地元がよく分かる人がやらなければ、ちょっと回っていかないかなと感じたものですから、そこら辺の認識というところをお伺いします。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** 委員おっしゃるとおり、地区のことが分からないとなかなか予約ができないということで、海老、四谷、連合地区の区長さんを通じまして、地域の方でその業務を請け負っていただける方はいないかということで探していただいております。今のところ、4名ほど受けてくれそうな方が

いらっしゃるということで、元々その地区の住民の方でございますので、問題なくできるのかなと思っております。

**○丸山隆弘委員長** 浅尾洋平委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

柴田賢治郎委員。

**○柴田賢治郎委員** 先ほどの答弁の中で未達があったということが言われておりました。この地元との話合いが始まる前から未達が決まっていたのか、途中で未達が決まっていたのか確認させてもらいたいと思います。

**○丸山隆弘委員長** 貝崎公共交通対策課長。

**○貝崎禎重公共交通対策課長** その未達になる前の段階から、地域公共交通計画におきまして、田口新城線の利用実績というか、人口減少等も含めて利用が減っておる、このままでは危ないぞというようなことがある程度予測できておったところでございます。

今回、デマンド運行等の対策につきまして、令和6年10月ぐらいに始められるように、既に地域と協議しながら進めておったわけですが、急遽、昨年末ぐらいに未達になったという報告を受けまして、1年前倒しということで、今回補正に上げさせていただいた次第でございます。

**○丸山隆弘委員長** ほかに質疑はありませんか。

[発言する者なし]

**○丸山隆弘委員長** 質疑なしと認めます。

歳出2款総務費の質疑を終了します。

以上で、第130号議案の質疑を終了します。これより討論を行います。

討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

**○丸山隆弘委員長** 討論なしと認めます。

討論を終了します。

これより、第130号議案を採決します。

本議案は、原案のとおり可決することに異

議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山隆弘委員長 異議なしと認めます。

よって、第130号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

~~~~~  
以上で本委員会に付託されました議案の審査は全て終了しました。

なお、委員会の審査報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思います。

これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山隆弘委員長 異議なしと認め、そのように決定しました。

これをもちまして、予算・決算委員会を閉会します。

閉 会 午前11時56分

以上のとおり会議の次第を記録し、これを証するために署名する。

予算・決算委員会委員長 丸山隆弘